

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
コンピュータリテラシー I Computer literacy I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士ユニット、教員養成(幼稚園)を履修する者は必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
稲見崇司、立川聡子、亀田和則、小林大輔		別途、授業にて指示	別途、授業にて指示	授業中に指示します
授業の概要				
ワープロソフト (Word2010)、オペレーティングシステム (Windows7)、インターネット・イントラネットの基礎知識および技術を演習を通じて習得する。				
授業の到達目標				
10分間で300文字入力、オペレーティングシステムの操作・クラウドサービス (SkyDrive) の利用、メールにファイルを添付、両面印刷と縮小印刷、Wordの様々な機能を使いこなすことができるようにする。				
授業の方法				
第1回目から第6回目までは、プロジェクトを用いて、オペレーティングシステムの操作、メールの設定やSkyDriveの設定や、添付ファイルを送信する手順や、両面印刷と縮小印刷 (2ページを1ページに収める) について説明し、キーボード入力の練習も行う。 第7回目以降は、テキストに沿った演習となる。				
学習の成果				
①SkyDriveを利用しファイルを提出することができる。②メールで添付ファイルを送信することができる。③特殊な印刷をすることができる。④Wordの様々な機能を使いビジネス文章を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (学習成果、成績評価、印刷のときの諸注意)、学内メールの設定、学外から学内メールを見る方法、e-typingの設定			
第2回目	e-typingでキーボード入力の練習、教科書の p p. 52-66 を演習 (終了しない場合は課題)、ファイルの保存、オペレーティングシステムの操作			
第3回目	e-typingでキーボード入力の練習、10分間の入力問題、オペレーティングシステムの操作、メールにファイルを添付し送信			
第4回目	e-typingでキーボード入力の練習、10分間の入力問題、メールにファイルを添付し送信、特殊な印刷			
第5回目	e-typingでキーボード入力の練習、10分間の入力問題、特殊な印刷			
第6回目	10分間の入力小テスト、SkyDriveの利用を申し込み、アドレスを教員へ提出			

第7回目	添付ファイルの小テスト (1分間)、教科書の p. 67 から演習		
第8回目	教科書演習の続き、添付ファイルの再テスト (1分間)		
第9回目	教科書演習の続き、特殊な印刷の小テスト (1分間)		
第10回目	教科書演習の続き、特殊な印刷の再テスト (1分間)		
第11回目	教科書演習の続き		
第12回目	教科書演習の続き		
第13回目	教科書演習の続き、14回目の授業前日までに教科書の演習を終了しSkyDriveにファイルを保存すること、次回実施する試験問題の発表		
第14回目	ビジネス文章作成の期末試験 (30分間)、SkyDrive上のファイルの確認		
第15回目	文書作成の試験に関する解説		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート		10%	SkyDrive上のファイルの満点の条件は、「ファイル名が指定された通りで教科書で指示された機能を十分に活用し、期間内に提出されている」である。
調査報告書			
小テスト		30%	①10分間の入力試験、②添付ファイルの試験、③特殊な印刷の試験に対して、それぞれ10%ずつの配分となる。各試験での満点の条件は、「①: 300文字以上の入力、②③: 30秒以内で操作が完了する」である。
中間・学期末試験		60%	ビジネス文章作成の満点の条件は、「入力ミスがなく、指定された機能を使い、制限時間内にビジネス文章を完成させている」である。
発表内容 (態度含む)			
その他			教科書を忘れた場合は、一回につき5点ずつ減点する。
教科書と参考図書			
教科書: 30時間でマスターWord&Excel2010 (実教出版)。※必ず購入し、第一回目の授業から持ってくること。			
履修上の心得・ルール			
操作方法がわからないときは、原則として教員へ質問するが、隣の友達に質問をしてもよい。ただし、私語は慎むこと。小テストの追試験について、学園生活に記載されている追試験の条件①-⑤に該当する場合のみ、受け付ける。コンピュータ教室は常に飲食厳禁である。			